

今後の HTLV-1 感染対策事業の実施予定について

1 本県における HTLV-1 対策の課題

(1) 医療・相談

ア 県内のキャリアの把握

現在、キャリアの把握方法については、産科医療機関、難病相談・支援センター等各関係機関へ個別照会が必要となっている。

市町村が実施する妊婦一般健康診査の受診票の様式を変更するなどにより、受診結果から陽性者の把握を行うことについて、今後検討していく。

イ キャリアへの医療・相談連携体制の充実

キャリアと判明した妊婦や母子感染した児童等に対する医療・相談連携体制については、現在、本協議会において「目指す姿」として検討している。

「目指す姿」におけるキャリア外来窓口やその役割の明確化等により、さらに関係機関の連携を図っていく。

ウ 市町村・保健所での相談の充実

平成 25 年度の県内各市町村・保健所における相談受理件数は 2 件（延件数）であるが、医療機関における検査や告知の内容、今後の治療方針についての情報が不足しており、相談対応には難しい部分もある。

市町村・保健所でのキャリア本人からの相談対応にあたっては、主治医との連携などにより適切な対応に努めていく。

エ 保健所等医療保険従事者のスキルの向上

HTLV-1 感染対策における検査機能の強化のため、平成 26 年度から保健所での抗体検査を開始したが、医療保健医療従事者等の HTLV-1 についての認識が十分ではない。

保健所をはじめとする関係機関の職員を対象とした医療保健従事者研修会の開催等により、相談対応にあたる保健師等のスキルアップを図っていく。

(2) 普及啓発

HTLV-1 母子感染防止への妊婦やその家族への普及啓発が十分に進んでいない。

妊婦健康診査時での疾患や相談窓口等を記載したリーフレットの配付や、県ホームページでの HTLV-1 に関する情報の掲載、検査希望者への抗体検査の周知等を行うことにより、県民に対する普及啓発の充実を図る。

2 平成26年度 HTLV-1 感染対策事業の概要

重点施策 (国の総合対策)	厚生労働省	岩手県
1 協議会の 設置	HTLV-1 対策推進協議会 (平成23年度設置)	名 称：岩手県 HTLV-1 感染対策協議会 設 置：平成24年3月21日 (①H24.3.21 ②H24.8.28 ③H25.8.27 ④H26.8.28)
2 感染予防 対策	○妊婦の HTLV-1 抗体 検査実施体制の確立 ○保健所における HTLV-1 抗体検査の導 入	○ 全市町村において、妊婦健康診査の受診項目 に HTLV-1 の項目を追加。(平成21年度) ○ 妊婦一般健康診査受診票の様式改定の検討。 ○ 保健所において、平成26年度から抗体検査を 開始。
3 相談支援	○HTLV-1 キャリアや ATL・HAM 患者に対 する相談体制の構築	○ 医療・相談支援体制については「HTLV-1 キ ャリア等への医療・相談支援体制(目指す姿)」、 「HTLV-1 キャリアに関わる医療機関分布図」 作成。県内産科医療機関、市町村・保健所等関 係機関へキャリア外来について周知。
4 医療体制 の整備	○精度の高い検査方法 開発 ○診療体制の整備 ○診療ガイドラインの 策定	○ 県内産科医療機関へアンケート調査。(妊婦健 診の陽性者数等) ○ 医療保健従事者を対象とした研修会の開催 (平成24年度から開催) ・ 日時：10月25日(土)13:30～16:40 ・ 場所：盛岡市勤労福祉会館5階 大ホール
5 普及啓発 情報提供	○国民への普及啓発・情 報提供 ○医療関係者等への普 及啓発・研修・情報提 供	○ 県民に対する普及啓発 ・ 県ホームページへの掲載 ・ 妊婦健康診査受診券配布時に HTLV-1 リーフレット 配付。(既存資料) ・ 医療機関窓口におけるポスター掲示。
6 研究開発 の推進	○研究の戦略的な推進 ○HTLV-1 関連疾患研究 費の拡充	○ 「HTLV-1 母子感染予防に関する研究： HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生時のコホート 研究」(厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服 等次世代育成基盤研究事業) ※ 県内、コホート研究協力医療機関9ヶ所。